

2026年度 学校評価報告書

対象期間： 2025年4月1日 ～ 2026年 3月31日

学校法人 センチュリー・カレッジ
専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー



I. 2026年度 学校関係者評価委員会 開催記録・議事録

1. 日時及び場所：

- (1) 日時：2026年7月9日（木） 18:30～20:20
- (2) 場所：専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 第1教室

2. 出席者

(1) 学校関係者評価委員

松崎 充意（一般財団法人石川県予防医学協会 理事長）
酒井 安代（株式会社シェーネアルト 看護師）
小畑 貴司（保護者）
長谷田 敦志（公立南砺中央病院 リハビリテーション室 主任）
田中 茉美（医療法人社団博友会 金沢西病院 作業療法士）
野倉 克利（医療法人積仁会 岡部病院 地域医療部 副部長）

(2) 本校教職員（オブザーバー）

狩山 信生（専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 校長）
種本 美雪（専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 副校長 兼 作業療法学科 学科長）
曾山 薫（専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 理学療法学科 学科長）
山本 達也（専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー 事務局長）

3. 欠席者

なし

[敬称略]

4. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 2025年度 自己点検・評価 報告
- (4) 2025年度 決算報告
- (5) 各委員会の2025年度 活動報告と2026年度 重点目標および取組み
- (6) 学校長挨拶
- (7) 閉会

5. 配布資料（PDF）

- ・[資料 1] 学校関係者評価・自己点検・評価結果
- ・[資料 2] 学校概要
- ・[資料 3] 2025年度 決算報告書
- ・[資料 4] 各委員会の重点目標及び施策

6. 議事録

(1) 学校関係者評価委員会 委員長挨拶

(2) 2025年度 自己点検・評価 報告（資料1、資料2／校長 狩山）

- ・学校関係者評価委員の事前評価を踏まえ、「1. 教育理念・教育目標」「3. 教育活動」「7. 学生の受け入れ募集」の3つの大項目をテーマに意見交換を行った。
- ・国家試験合格に加え、卒業後に信頼される医療人・社会人を育成するために、本校の理念の浸透や教育活動の充実、学生募集の強化など課題について意見をいただいた。また、スポーツトレーナーコースやボランティア活動など、特色ある教育活動を踏まえ、今後の重点的な取組について意見交換を行った。

<教育理念・教育目標>

狩山) 事前にいただいたご意見では、教育理念を教職員へどのように浸透させるか、また学生や保護者へ分かりやすく伝え、日々の教育活動や学生指導にどのように反映していくかが課題として挙げられていました。皆様の組織では理念を浸透させるためにどのような工夫をされているのか、本校で参考にできる取組があれば、ご意見をお聞かせください。

小畑委員) 理念を共有することは組織全体が同じ方向を向くために重要です。そのためには、日頃から目に触れる環境づくりが必要だと思います。ホームページだけでは十分とは言えないため、校内に掲示するなど、常に目に入る工夫が効果的ではないでしょうか。

長谷田委員) 教職員の皆さんには、理念や目標がある程度浸透しているように感じます。ただ、それが学生まで十分に伝わっているかというと、また別の課題なのかもしれません。理念や目標を各部署や教員室などに掲示したり、各種マニュアルの冒頭に掲載したりするなど、日常的に目にする機会を増やすことで、より意識づけにつながるのではないのでしょうか。

田中委員) 当院でも以前は朝礼で理念を唱和していましたが、現在は名札の裏側に理念を記載し、いつでも確認できるようにしています。やはり普段から目にする機会を作ることが大切だと思います。
また、学校のCMなどで使われているキャッチフレーズのように、自然と耳に入り印象に残る言葉があると、学生だけでなく地域の方にも理念や学校の特色が伝わりやすくなるのではないかと思います。
また、私はホームページに「思いやりの心」が掲載されており、これを理念だと受け取っていました。「建学理念」「教育理念」の違いや位置付けが分かりにくいいため、その関係性を整理して示すことで、より分かりやすく伝わるのではないのでしょうか。

狩山) ご指摘のとおり、建学理念、教育理念、教育目標など、言葉が複数あり、それぞれの違いや関係性が分かりにくくなっている部分があると思います。本校では、建学理念として「感動の共有」と4つの「C」を掲げ、教育理念として「凛とした医療人」の育成を掲げていますが、改めてそれぞれの位置付けを整理し、本校がどのような医療人を育てたいのかが分かりやすく伝わるよう、見直していきたいと考えています。

田中委員) 学生に向けた教育理念と、教職員が共有すべき理念は、それぞれ整理して考える必要があるのではないかと感じました。誰に向けた理念なのか、どのような目的を持つものなのかを明確にすることで、教職員全体が同じ方向を向いて教育に取り組めるのではないかと思います。

酒井委員) 学生には教育理念や目標をどのように伝えているのでしょうか。

狩山) 入学時のオリエンテーションや各授業の中で説明しています。ただし、教職員同士で理念を日常的に確認・共有する機会は十分とは言えず、今後の課題と考えています。

松崎委員) 理念は、簡潔に整理して絞り込んだ方が組織全体に浸透しやすいと思います。私どもの組織では、基本理念を3項目に集約し、その理念を実践するための行動指針を別に定めています。
本校でも、建学理念や教育理念について、それぞれが誰に向けたものなのかを明確に整理することで、より理解しやすくなるのではないのでしょうか。

<教育活動>

・特色ある教育活動について

長谷田委員) 3年制は他校にはない大きな特色だと思います。実習生からも「2年次は非常に忙しく大変だが、それを乗り越えたことで自信につながった」という話を聞きます。
一方で学生への負担も大きいので、学習面や精神面でのサポートが重要になります。3年制のメリットを生かしつつ、デメリットを補う支援体制が必要だと感じます。
また、スポーツトレーナーコースは現在どのような形で実施しているのでしょうか。

狩山) スポーツトレーナーコースは今年度の入学生を対象に正式に開始し、理学療法学科・作業療法学科ともに約9割の学生が受講しています。5限目に選択科目として開講しており、国家試験に必要な必修科目ではありませんが、スポーツに興味を持つ学生が、専門職としての知識や技術を実践的に学べる機会となっています。
現在は学内で座学と実技を中心に実施していますが、今後はスポーツ現場など学外での実践的な活動も取り入れる予定です。昨年度の試行段階から学生の反応も良く、楽しく学べるという声も多く聞かれています。

長谷田委員) サークル活動をさらに発展させたようなイメージでしょうか。意欲の高い学生には魅力的な取組だと思いますが、受講しない学生への支援についてはどのように考えていますか。

狩山) スポーツトレーナーコースは入学者増加にもつながった取組ですが、あくまで選択科目です。学生の興味や将来の進路は多様であるため、スポーツ以外にも、それぞれのニーズに応じた学びを提供できるよう検討していきたいと考えています。

長谷田委員) 学生一人ひとりの興味や目標に応じた学びが充実すれば、学習意欲の向上や退学防止にもつながると思います。今後ますます重要になる取組だと感じます。

田中委員) 私は、スポーツトレーナーコースをスポーツ分野に特化した独立したコースだと認識していました。今回お話を伺い、選択科目として学ぶコースであることが分かりました。
理学療法だけでなく、作業療法についても、例えばハンドセラピーなど、卒業後の専門性や認定作業療法士につながるような特色ある学びがあると、さらに本校の魅力が高まるのではないかと思います。

狩山) 作業療法分野においても、卒業後の認定取得につながるような学びを、正課教育に加えたプラスアルファの教育として検討していきたいと思っています。

・教育活動の充実と教育の質向上について

松崎委員) コマシラバスの作成には大きな労力が必要だと思いますが、整備されれば教員の負担軽減につながるだけでなく、学生も学習の目的や到達目標が明確になり、主体的に学ぶことができるため、学習効果の向上が期待できると思います。

野倉委員) 非常勤講師の立場としては、シラバスがより具体的に示されていると、授業が進めやすくなります。現在は臨床経験を伝えてほしいと言っていますが、学生に何を到達目標として学んでほしいのか、どのような内容を身につけてほしいのかを明確に示していただけると、授業内容をより組み立てやすくなります。
また、自分の授業について、学生がどのように受け止めたのか、内容を理解しやすかったのかなど、学生からの評価やフィードバックをいただくと、授業改善にもつながると思います。学校にとっても、講師にとっても有益ではないかと思います。

酒井委員) 高校生は理学療法士については比較的イメージしやすい一方で、作業療法士の仕事内容は十分に知られていないように感じます。具体的な事例や活躍している場면을積極的に紹介することで、作業療法の魅力がより伝わるのではないのでしょうか。

小畑委員) コマシラバスが整備されれば、教員はどこまで授業を進めればよいかが明確になりますし、学生にとっても学習の到達目標が分かりやすくなります。また、担当教員が変わっても一定の教育の質を維持できるという利点があります。
教科書だけを基準にすると学習範囲が非常に広がってしまうため、学生にとっては、どこまで理解できていけばよいのが分かりにくいと思います。学習内容を振り返るために、どこまで理解できていけばよいという到達目標を示したコマシラバスがあると、学生にとっても復習しやすくなるのではないのでしょうか。

狩山) ご意見のとおり、シラバスについては毎年見直しを進めていますが、まだ十分とは言えません。担当の教員や講師が変わっても教育の質を維持できること、厚生労働省が定める教育内容を確実に網羅すること、それに加え講師の専門性や臨床経験を生かした授業構成をしていくことが重要だと考えています。到達目標を明確に示し、より分かりやすい教育体系を構築していきたいと考えています。

<学生の受け入れ募集>

狩山) 本校では、3年間で国家資格取得を目指す教育に加え、地域とのつながりを大切にした教育を進めています。今後も高校生や保護者、地域から選ばれ続ける学校となるためには、どのような取組が必要かという視点でご意見をいただきたいと思います。

酒井委員) 学納金の分納制度を導入されたことは、保護者にとって非常に良い取組だと思います。また、スポーツトレーナーコースのような特色ある学びをさらに充実させ、この学校ではこのようなことも学べるという具体的な魅力を発信することで、学校の魅力向上や学生募集にもつながるのではないかと思います。

長谷田委員) 現在、現役高校生以外の社会人入学生はどの程度いるのでしょうか。私が在学していた頃は、理学療法学科では社会人経験者が半数近くいましたが、現在はどのような状況ですか。

狩山) 現在は全体の1～2割程度です。

長谷田委員) 以前と比べると割合は少なくなっていますが、社会人の学び直しやリスキリングの需要は今後さらに高まると思います。3年間で国家試験の受験資格を取得できることは、本校の大きな強みであり、その点を積極的に発信していくことが重要ではないのでしょうか。

小畑委員) 私も3年間で国家試験の受験資格を取得できることは大きな魅力だと思います。仮に大学を卒業してから理学療法士・作業療法士を目指す場合、さらに養成課程で学ぶ必要があることを考えると、3年間で資格取得を目指すことは、時間的なメリットになると思います。そうした社会人や就職活動中の大学生に対して、大学のキャリアサポートセンターなどを通じて、理学療法士・作業療法士という進路もあることを伝えていくのも有効ではないかと思います。

長谷田委員) 大学卒業後に一般企業へ就職したものの、数年で離職する若者も少なくないと思います。そうした方々に対して、理学療法士・作業療法士などの資格取得によるキャリアチェンジを提案することも、学生募集における一つのターゲットになるのではないのでしょうか。

狩山) 大学のキャリアサポートセンターと連携し、学び直しの選択肢として本校を紹介していただくことも検討したいと思います。

長谷田委員) 私自身も当時、新聞記事で本校の開学を知り入学を決めました。情報発信の方法によって、新たな学生との出会いにつながることは十分あると思います。

野倉委員) 精神科病院では、資格取得を目指して看護専門学校へ進学するケアワーカーが多くいます。資格を取得することで給与面でもメリットがあるためです。
学校運営としては大変だと思いますが、夜間部など、仕事を続けながら学べる仕組みがあれば、社会人のニーズは一定程度あるのではないのでしょうか。

小畑委員) 仕事を続けながら資格取得を目指せる夜間部などがあれば、収入を維持しながら学ぶことができるため、社会人にとって魅力的な選択肢になると思います。

狩山) 東海・関西圏では夜間部を設置している養成校もありますが、昼間部と同じ修業年限で運営し、平日夜間や長期休暇を活用して授業を行っています。
一方で、夜間部も学生募集には苦勞していると聞いています。社会人のニーズはあると思いますが、人口減少や学習環境の変化などもあり、以前とは状況が異なっています。近年では大学院教育でもオンライン化が進んでおり、多様な学び方についても検討が必要だと感じています。

松崎委員) 今後は社会人だけでなく、留学生も重要な募集対象になると思います。先日、日本の関係団体と連携するベトナムの教育機関を視察しましたが、日本語教育と専門教育を組み合わせ、日本で働く人材を育成していました。
少子化が進む中、学生を待つだけでは募集は難しく、海外を含めた連携先を積極的に開拓していく必要があると思います。他校の取組も参考にしながら、本校ならではの強みを発信していくことが重要ではないのでしょうか。
また、高校生にも分かりやすく伝わるキャッチコピーやメッセージを打ち出し、本校の理念や特色を一目で理解してもらえるような広報を強化することも必要だと思います。

(3) 2025年度 決算報告(資料3/山本)

(4) 各委員会の2025年度 活動報告と2026年度 重点目標および取組み(資料4/種本)

- ・教職員全員を構成員とする7つの委員会を設置し、「学生の自立と専門職としての成長を支援する」ことを目標に、学生支援や教育環境の整備に取り組んでいる。資料4に基づき、各委員会の活動内容および2026年度の重点目標について説明を行った。

<就職活動の状況について>

長谷田委員) 北陸地区への就職率が87%となっていますが、北陸三県の求人状況はいかがでしょう。また、希望する就職先へ就職できているのでしょうか。

種本) 北陸三県の求人件数は大きく増加しているわけではありませんが、引き続き十分な求人があります。学生についても、希望する地域への就職は概ね実現できています。

長谷田委員) 病院では療法士の充足が進みつつあるため、今後は就職環境も変化していく可能性があると感じます。
また、図書委員会の活動報告にある「水没」とは、どのような内容でしょうか。

山本) 昨年8月の大雨により雨漏りが発生し、一部の蔵書が水濡れ被害を受けたため廃棄しました。また、地下2階では学生ラウンジの天井やカーペットにも被害が及び、現在も閉鎖しています。復旧に向けて、調査および改修の準備を進めています。

(5) 学校長挨拶

以上

(記録：橋本尚子)

Ⅱ.学校関係者評価

評 価： 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

【評価】	【意 見】
1 教育理念・目標	
3.5	・ 教職員全体へ理念を周知する仕組みを考えてください。 ・ 教育理念や教育目標はしっかりと明文化されており、学校側の目指している方向性が明確になっていると思います。今後、生徒や保護者の方々にどのくらい伝わっているか、どのように浸透させていくかが課題になると感じます。 ・ 学生の理解度向上のためには、まず学年や教職員それぞれの立場に応じた分かりやすい提示が必要だと思います。同時に、教職員が日々の指導の中で自ら理念を体現しているのかも重要です。したがって、学校側の「改善方策」にある通り、理念と日々の教育実践を結びつける機会を定期的に設けていただくことをお願いします。 ・ 以前は教育理念を強調していたように感じていたが、HPを見ると「思いやりの心」をコンセプトにしておりどのように反映・共有されるか期待します。 ・ 学校のホームページでは情報が細部まで丁寧に整備されていて、スマホでの操作性にも配慮された扱いやすいデザインになっていると感じた。
2 学校運営	
3.2	・ 運営方針の伝達方法を確立すべきと考える。 ・ 教員の持つ資格など公開できるものがあれば情報を提示し、強みを押し出せられればと思います。 ・ 3年間で専門職の育成を行うにあたり、教員の皆さまのご負担は決して小さくないものと思います。教職員の皆さまが外部の研修で学べる機会を大切に、外部講師の先生方とも柔軟に連携しながら、より豊かで充実した教育環境を築いていかれることを期待しております。 ・ 学内の情報共有を促進し業務を効率化するためには、Teams等のITツールの有効活用が不可欠です。情報をテキストとして明文化することで、各自の理解が深まるだけでなく、面談や会議の時間を短縮し、組織全体の生産性向上に繋がると考えます。
3 教育活動	
3.5	・ 教職員の皆様のご尽力により、質の高い教育活動が維持されていることを高く評価いたします。現在進められている「コマシラバス」の作成について、導入初年度は多大な労力を要すると思われますが、構築できれば翌年以降の教員の負担軽減につながるだけでなく、学生の学習効率向上にも大きく寄与すると思います。 ・ 「良いシラバス」の存在は教員と学生間の温度差を解消するには最もよい手段だと考えるので、徹底して行うほうが良いと思う。 ・ 研究がない分、基礎知識はもちろん、より実践向けのカリキュラム・教育で即戦力となる人材へのサポートをしていただきたい。 ・ 1年次からの早期の国試対策やスポーツトレーナーコース、ボランティア活動など、特色あるプログラムかと思います。 ・ 学習面でつまずきや不安を感じる学生に対しての丁寧なフォローに教員の皆様が日々とても心を尽くされていると思います。
4 学修成果・教育成果	
3.3	・ 国家試験の合格率や就職率は、受験生や保護者の皆様が特に注目される大切な指標だと思います。この高い実績を維持されるのは並々ならぬご苦労があるかと思いますが、これからも変わらぬ素晴らしい教育とサポートを期待しております。 ・ 教職員の皆様のご尽力により、着実な教育成果が維持されていると拝察いたします。自己点検・評価に記載されている「卒業生の状況調査・分析」や「定期的な同窓会の開催」は、非常に有意義な取り組みであり、ぜひ実施いただきたいと考えます。 ・ 卒業生の状況調査と分析の結果は在校生には「生の声」なので、職業選択（職場選択）の指針となるはずで、フィードバックしてほしいです。 ・ 卒業生からのフィードバックを学内教育へ還元できるだけでなく、活躍する先輩の姿を見せることで、在校生の帰属意識（エンゲージメント）や学習意欲の向上に繋がると考えます。 ・ 卒業生からの問い合わせなどはあるのか？その対応と、問い合わせがないようであれば相談がしやすい環境づくりも必要かと。
5 学生支援	

3.3	・ 個々の学生には多様な事情が存在するので、それを活かす支援策を考えていると思う。 ・ 学習面や進路の不安に対し、早い段階から個別で親身に相談に乗られていることと思います。そこまでサポートされていても、様々な背景から退学に至ってしまうケースがどうしても出てしまうのは、ある程度避けられないことだと思います。 ・ 在校生に対するきめ細かな支援の継続に加え、作業療法学科において「専門実践教育訓練給付金制度」の対象指定を受けられたことは、非常に高い成果であると評価いたします。今後はこの強みを活かし、多様化する社会人学生のニーズに一層応えられる受け入れ体制の整備を進めていただくとともに、学校経営の安定化に向けて、退学率のさらなる低減に注力いただくことを期待いたします。 ・ 卒業し、就職1年目くらいまでは、今までの実習や習ってきたこととのギャップに悩むこともあり、行き詰まることも多いと思います。どんな名目でもいいので、先生方から声をかけていただいて集まる機会や話のできる場作りがあるといいと思います。
6 教育環境	
3.5	・ 教育環境のさらなる充実に向け、日々ご努力されている点については評価いたします。一方で、分煙・禁煙の掲示および周知徹底に関しては、以前より継続して課題が指摘されています。医療従事者を育成する養成校としての社会的責任、および学生の健康管理の観点からも、2026年度中の改善と環境整備をお願いします。 ・ 本校を巣立って医療機関に勤務する場合、喫煙者には厳しい環境があることを知っていただきたい。禁煙学習の機会を設けるのが良いのではないかと。 ・ 3年制という短期間ゆえのモチベーション維持のご苦勞もあるとお察しいたします。ドイツ海外研修やスポーツトレーナーコースの開設など、学生の未来を豊かにする素晴らしい教育環境のさらなる発展を期待しております。
7 学生の受入れ募集	
3.5	・ 少子化や大卒志向の激化など、極めて厳しい環境のなかにあっても、教職員の皆様が強い危機感を持って一丸となり、募集活動に日々多大なるご尽力をされていることに深く敬意を表します。今後も引き続き、受験生や保護者のニーズに寄り添った、誠実できめ細やかな募集活動を推進いただくことをお願いします。 ・ 若年層の人口減少にともない、現役高校生の募集はさらに苦勞する時代を迎えていると思います。3年間という短期間での養成を最大のメリットと捉え、学び直しを考える社会人層の入学促進に力を入れていく事も必要と思います。 ・ 作業療法学科の入学者数が減少傾向だが、需要はあるのでぜひPRを強化して定員か目標の入学者数へ。 ・ 本邦の人口動態を考慮したアドミッション・ポリシーが必要かも。 ・ 多様化への対応。 ・ 子供が入学時や在学中は、学費が高いなと思ってはいましたが、3年間で専門知識を学び、資格をとってがんばって医療人として働いている子供を見ると、苦には思いません。今までは一括払いでしたが、分割導入されたことはいいことだと思います。
8 教育の内部質保証システム	
3.3	・ 以前からの継続課題であった「各委員会および担当部署への改善依頼」が確実に実行された点について、学内のPDCAサイクルが正常に機能しているものと評価いたします。今後のさらなる体制強化に向け、医療・教育機関として極めて重要である「個人情報保護」に関する取り組みへの注力を期待します。 ・ 各種委員会などの組織整備がなされており、学校全体が学生にとってもより良い方向に向きつつあると感じております。
9 財務	
3.0	・ 地方の大学・専門学校を取り巻く環境において、入学者減少による財務基盤への影響は喫緊の共通課題であると認識しております。納付金収入の安定化、すなわち健全な学校経営を維持するためには、高校生から「選ばれる学校」となるための原資投入や努力はもちろんのこと、中途退学による財務損失を防ぐ「学生サポート体制の充実」が不可欠です。さらに、新たな財源確保の観点からも、社会人・キャリアチェンジ層を獲得できる受入体制の整備と、ターゲットに最適化した広報戦略をより一層推進いただくことを期待いたします。

	・ 昨今の国際情勢等による経費高騰への対応策を知りたい。 ・ 入学者数減少からの収入減少はとても大きいと思います。やはり入学者数を少しでも増やすことが大事だと改めて思います。
10 社会貢献・地域貢献	
3.7	・ モリス図書館やこども食堂などを通して本校のPRと学生のコミュニケーション能力の向上も養われればと思います。 ・ こども食堂や地域のボランティア活動、スポーツサポートなどメディアを通じて学外での活動を目にする機会が多くなってきたと感じています。こうした地域に根ざした活動が、学生の皆様の成長と学校全体のさらなる発展に繋がっていくと思います。 ・ 今までいろいろな地域のボランティア活動に参加していることは聞いていますが、もっともっと幅広く地域に出ていき、学校アピールを兼ねて働きかけていけるといいと思います。 ・ 子ども食堂への継続的なボランティア活動を実践されている点について、地域社会への貢献のみならず、極めて有意義な「人間教育の場」として高く評価いたします。 地域住民や子どもたちとの多様な交流を通じて、医療人として不可欠な「利他の心（思いやりの心）」が育まれるだけでなく、コミュニケーション能力や協調性、さらには自己肯定感の向上など、学生の精神的成長に大きく寄与していると考えます。

Ⅲ.自己点検・評価結果

1. 学校の教育目標

学生の自立を支援する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

主体的な学習方法の導入、他領域の教育活動の実施

対象期間：2025年 4月1日 ～ 2026年 3月31日

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

3. 評価項目の達成及び取組状況

自 己 点 検 ・ 評 価 項 目				前回	【評価】	エビデンス	担当	
1 教育理念・目標								
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）					
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	3.5	↑3.8	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、学生の手引き、新入生保護者説明会資料	運営会議
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	3.5	↑3.8	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、学生の手引き、新入生保護者説明会資料	
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	3.0	↑3.2	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、学生の手引き、新入生保護者説明会資料	
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	3.5	→3.5	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、学生の手引き、募集要項、新入生保護者説明会資料、学校関係者評価委員会議事録	
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）					
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	3.5	↓3.3	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、シラバス、教育課程編成委員会議事録、臨床実習の手引き、臨床実習到達表、学生自己評価表、実習状況チェック表	教務
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	3.2	↑3.3	ホームページ、教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、学校関係者評価委員会議事録、臨床実習指導者へのアンケート、就職支援担当報告	
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	3.3	↑3.4	ホームページ、パンフレット、学生便覧（建学理念、学則）、シラバス	
【課 題】				【今後の改善方策】				
1-1-1： 明確にはなっているが周知が徹底していない。				1-1-1： カリキュラムツリーの見直しや掲示等を通じて、育成人材像の共有を図る。				
1-1-2： 学生にディプロマシー・ポリシー、カリキュラム・ポリシーなどが十分説明出来ていないのではないかと。								
1-1-3： 本校の教育理念・教育方針はホームページ等で公開され、一定の共有は図られているものの、教職員全体への体系的・継続的な周知や、学科の教育目標等に関する組織的な共有・実践の仕組み（研修や定期的な確認機会等）が十分とは言えない。				1-1-3： 教員会議やFDの中で理念と教育実践を結びつける機会を定期的に設定する。				
1-2-2： 学生募集においては社会経済のニーズの把握、学生教育においては業界の動向やニーズの把握というように、それぞれ異なる側面があるため、分けて情報を整理する必要がある。				1-2-2： 社会経済のニーズ、業界の動向・ニーズに分けて、情報収集・整理・分析を行う。				
1-2-2： 社会的ニーズの高い作業療法学科であるが、高校生の認知度が低く入学者数が減少している。				1-2-2： 高校ガイダンス等の機会を増やし、作業療法の魅力を発信するとともに、高校ガイダンスからオープンキャンパス、さらに入学へとつながる動線を検討する。				
1-2-2： 生成A I の利用が一般的になってきているが、課題等に対する生成A I の利用ルールが定められていない。								

		1-2-2： 本校における生成A I の利用ルールを作成・運用する。
【成果・特記事項】		
1-2-3：パンフレットの内容を大幅に見直しを行った。		

2 学校運営									
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	3.0	↗	3.2	理事会での事業計画資料、理事会資料、理事会・評議員会議事録、上長会議議事録、教員会議議事録、学科会議議事録、各委員会目標・総括報告、運営方針	運営会議
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	2.6	↘	2.5	学科会議議事録、チームズ等での連絡記録、教員会議議事録、各委員会目標・総括報告、運営方針発表会議事録、寄附行為又は定款	
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	3.1	↘	2.8	理事会での事業計画資料、理事会・評議員会、事業報告書	運営会議
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	3.9	↘	3.8	学事暦、教員スケジュール、学則、学校予定表（学生掲示用）、臨床実習の手引き、年間行事予定、事業計画工程表	
2	4	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	4	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	2.8	↗	3.0	理事会・評議員会議事録、寄附行為、教員会議議事録	事務局
2	4	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	2.1	↗	2.3	起案書	
2	4	3	組織機能図があるか	A	1.6	↗	2.0	組織図	
2	4	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	3.6	→	3.6	上長会議議事録、教員会議議事録	
2	4	21	出退勤管理簿があるか	A	3.9	→	3.9	勤怠管理システム(キングオブタイム)、出勤簿	
2	4	22	教職員の健康診断がされているか	A	3.9	→	3.9	健康診断起案、健康診断結果、教職員健康診断実施案内（チームズ）、請求書、就業規則	
2	4	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	3.3	↘	3.1	チームズ、施設設備保守契約書、請求書、外部委託業者の保守管理報告書	
2	5	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	5	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	2.2	↗	2.7	理学療法士・作業療法士免許、理学療法士作業療法士言語聴覚士専任教員養成講習会修了証、教員名簿登録、教員研修修了証、資格免許、履歴書、卒業証明書、資格・要件等採用基準	運営会議
2	5	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	2.8	→	2.8	専任教員養成講習会の修了証、運営会議議事録、ハローワーク募集要項、教職員名簿、研修計画・報告書、ホームページ、求人申込書、求人広告の記録	

2	5	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	3.7	→ 3.7	授業評価アンケート、自己評価委員会議事録、授業評価アンケートの様式、授業評価結果報告書、実施体制組織図		
2	5	4	教員の組織体制を整備しているか	A	2.8	→ 2.8	教員組織図、組織図、各委員会の目標資料、委員会担当表、教員会議議事録（委員会活動総括記録）、各委員会目標・総括報告		
2	5	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	2.8	↘ 2.7	研修計画・報告書、教務委員会目標・総括報告、教員研修規程		
2	5	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	2.8	→ 2.8	復命書、研修報告書、研修復命書、研修計画・報告書、教務委員会目標・総括報告、教員研修規程		
2	5	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	1.5	↑ 2.0	なし		
2	5	24	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	3.3	→ 3.3	復命書、研修計画書、研修計画・報告書、教員の非常勤等委嘱記録、研修報告書、教員の研修計画、教員研修規程		
2	5	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	2.3	↑ 2.8	研修計画・報告書		
2	5	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	2.8	↑ 3.0	学科会議議事録、教員会議議事録、教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、授業評価アンケート、シラバス、報告書		
2	6	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	6	1	人事に関する制度を整備しているか	A	3.3	↑ 3.4	就業規則、育児・介護休業規程、母性健康管理の措置に関する規程	事務局	
2	6	2	給与に関する制度を整備しているか	A	3.7	↑ 3.9	退職金規程、旅費規程、賃金規程、給与規程		
2	6	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	2.4	↑ 2.9	賃金規程第2章正職員の賃金、第2節基本給第6条（昇給）、賃金規定、給与規程		
2	6	4	採用制度は文書化されているか	B	2.4	→ 2.4	就業規則、就業規則第2章人事第1節採用		
2	7	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	7	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	3.0	↑ 3.8	チームズ、成績管理システム、掲示サイト、ホームページでの各種・各方面への情報発信、組織図	運営会議	
【課題】				【今後の改善方策】					
2-1-2：運営方針の伝達が行われていないことがある。				2-1-2：年度初めに全体の集まり、あるいは教員会議などで運営方針の伝達を行うことを定例とする。					
2-4-41：定期的な保守は行われているが、施設老朽化による不具合、雨漏りの根本的な改善はされていない。				2-4-41：根本的な原因を対処する。業者の対応が問題であれば、業者変更を検討する。					
2-5-2：一部の専門分野における教員数が不足している。				2-5-2：採用面においては、従来の個別のリクルーティングに加え、公募の活用も含めた採用手法を検討していく。また、人材育成の観点から、卒業生や若手療法士の中から教育に関心を持つ人材を早期に把握し、非常勤講師としての登用や教育機会の提供を通じて、将来的な教員候補者の育成を進める。					

2-5-21、2-5-22： 研修は個人単位での実施が中心となっており、組織的な取組や研修効果の評価が十分に行えていない。	2-5-21、2-5-22： 組織的な研修を企画・実施するとともに、研修効果を評価する仕組みの構築を図る。
2-5-23：学修結果に基づく教員面接は実施できていない。	2-5-23：学修成果を踏まえた教員面接の導入を段階的に進めるとともに、科目ごとの到達度評価や学生アンケート等の既存データの整理・可視化を図る。
2-5-41：専任教員と非常勤講師の間で、授業運営や学生状況に関する情報共有は随時行っているが、その実施状況を体系的に記録・蓄積する仕組みは十分に整備されていない。	2-5-41：情報交換の実施内容について簡易な記録様式を導入し、組織的な共有および教育改善への活用を図る。
【成果・特記事項】	
2-5-3：授業評価アンケートの見直しを行い要望を把握しやすくなった。また、実習用の授業評価アンケートを別途作成したことにより実習成果・状況が分かりやすくなった。	
2-7-1：チームズ導入により伝達事項などの責任の所在が明らかになった。	

3 教育活動									
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	3.4	→	3.4	教育課程編成委員会および議事録、ホームページ（3つの方針）、学生便覧、パンフレット、カリキュラムポリシー、教育課程編成委員会、カリキュラムツリー、シラバス、情報公開	教務
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	3.7	↘	3.6	シラバス、学生便覧、ホームページ、パンフレット、教育課程編成委員会議事録	
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマ・ポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	3.2	↗	3.3	教員会議議事録、学生便覧、パンフレット、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会、ホームページ（3つの方針）	
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	3.5	↘	3.4	作業療法学科会議議事録、シラバス、カリキュラムツリー、カリキュラムマップ	教務
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	3.8	→	3.8	シラバス、臨床実習の手引き	
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	3.5	↘	3.3	シラバス	
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	3.7	↘	3.6	ホームページ、チームズ、講義フォルダ、シラバス、進捗表、学生便覧	
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	3.5	↘	3.3	授業評価アンケート、学生便覧、シラバス、講義での説明（パワーポイント）、学事暦、成績評価と客観的な指標の算出について、成績管理システム、講義資料	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	2.2	↗	2.6	授業評価アンケート、授業評価結果	
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	3.5	↘	3.4	授業評価アンケート、授業評価結果	
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	2.8	↗	3.0	授業評価アンケート、授業評価結果、作業療法学科会議議事録	

3	2	41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	3.1	↗ 3.3	学科会議議事録、組織図、教員会議議事録、教育課程編成委員会、教務委員会、作業療法学科会議議事録	
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	3.0	↗ 3.1	教育課程編成委員会議事録、学科会議議事録	
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	3.1	↗ 3.3	教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き、進度表	
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	3.8	→ 3.8	教育課程編成委員会議事録、進度表、シラバス、臨床実習の手引き、臨床実習指導者会議議事録	
3	2	83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	3.6	→ 3.6	実習指導者会議議事録、教育課程編成委員会、臨床実習の各記録、シラバス、臨床実習の手引き、授業日程・進度表、学校関係者評価委員会、解剖実習および吸引吸痰実習の委託文書（金沢医科大学）、多職種連携の資料	
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	3.9	↗ 4.0	実習受け入れ承諾書、臨床実習指導者会議議事録、シラバス、臨床実習の手引き	
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）					
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	3.6	↘ 3.4	学生規則、学生便覧、ホームページ、成績・卒業判定会議議事録、成績評価と客観的な指標の算出について	教務
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	3.8	→ 3.8	成績表、学生規則、学生便覧、ホームページ、保護者説明会資料、シラバス	
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	3.7	↘ 3.6	学科会議議事録、学生便覧、成績・卒業判定会議議事録、ホームページ、シラバス、成績管理システム、成績評価票	
3	3	4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	3.3	↗ 3.6	シラバス、学生規則、教育課程編成委員会議事録、臨床実習指導者会議議事録、学生便覧、臨床実習の手引き、情意領域確認表、成績評価と客観的な指標の算出について、職業実践専門課程等の基本情報について、多職種連携の委託文書（金沢医科大学）、連携科目の成績表、実習到達表	
3	4		資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）					
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	3.8	→ 3.8	シラバス、成績証明書、卒業証明書、パンフレット、臨床実習の手引き	教務
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）					
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	3.7	→ 3.7	シラバス、進度表、外部講師依頼文書、臨床実習の手引き、実習受け入れ承諾書、教育課程編成委員会議事録、講義資料（基礎セミナー・キャリアデザイン学）	教務

3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	2.6	↑ 3.0	運営会議議事録、中学校・高校からの講義依頼、高校就職ガイダンス、学校ガイダンス
【課題】				【今後の改善方策】			
3-1-1、3-1-2、3-1-3： 教育理念、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーをホームページで公開したが、学生便覧に掲載する必要があるのではないかと感じる。				3-1-1、3-1-2、3-1-3： 教育理念、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの学生便覧への掲載を検討する。			
3-2-1： 各ポリシーとカリキュラムとの関連性がわかるカリキュラムマップやツリーがない。							
3-2-3： コマシラバスの作成に至っていない。				3-2-3： コマシラバスに必要な内容について検討をすすめる。			
3-2-21、3-2-22、3-2-24： 授業評価アンケートの見直しは実施したが、質の担保に向けた対応が必要だと感じる。				3-2-21、3-2-22、3-2-24： 授業評価に関する情報共有やカリキュラムツリーの作成を進めるとともに、講義見学や教員間での授業フィードバック、外部講師の授業観察を実施し、カリキュラムおよび授業の質保証体制の充実を図る。			
3-2-22： 教員同士の講義見学や研鑽、ならびに外部講師を含めた第三者による授業観察・講義評価が十分に実施されていない。							
3-3-1： 卒業判定で不可となった場合の対応が明文化されていない。							
【成果・特記事項】							
3-1-1、3-1-2、3-1-3： 昨年度、教育理念アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーはホームページで公表された。							
3-5-21： 今年度から高校が導入した「探求授業」への協力を進めていく。							

4 学修成果・教育成果								
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）					
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	3.7	→ 3.7	定期試験、国家試験結果、卒業試験、実習前後客観的臨床能力試験要項、成績表、成績一覧表、判定会議議事録	教務
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	3.4	↘ 3.2	定期試験、卒業試験、シラバス、学生便覧、実習前後客観的臨床能力試験要項、成績表、成績管理システム、実習到達表	
4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）					
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	3.9	↘ 3.8	定期試験、卒業試験、シラバス、学生便覧、実習前後客観的臨床能力試験、進捗表、実習到達表	教務
4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	3.7	→ 3.7	学科会議議事録、各委員会目標・総括報告、教員会議議事録、就職活動一覧表、就職支援委員会、就職希望調査学生アンケート、求職登録票、作業療法学科会議議事録	
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	3.9	↘ 3.8	学科会議議事録、採用試験報告書、就職活動報告書	
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・ホームページ等）	B	3.9	↘ 3.8	ホームページ、パンフレット、保護者説明会資料	
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）					
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	3.9	↘ 3.7	シラバス、ホームページ、パンフレット、教員会議議事録、学科会議議事録、委員目標資料、国家試験結果	教務

							のデータ、国試対策委員資料、就職活動保護者説明会資料		
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	3.8	↗	3.9	各委員会目標・総括報告、教員会議議事録、国家試験対策委員会目標	
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	3.8	→	3.8	各委員会目標・総括報告資料、教員会議議事録、国家試験対策委員会目標	
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	3.8	→	3.8	各委員会目標・総括報告資料、教員会議議事録、パンフレット、ホームページ	
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	3.9	→	3.9	各委員会目標・総括報告資料、教員会議議事録、パンフレット、ホームページ、各種保護者説明会	
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	2.3	↗	2.4	卒業生調査・企業アンケート	教務
【課題】				【今後の改善方策】					
4-4-1：卒業生の活躍や就職後の動向を継続的に把握するための仕組みが十分に構築されていない。				4-4-1：卒業生の状況調査・分析を実施し、定期的な同窓会開催や相談窓口の設置を通じて卒後支援の充実を図るとともに、その結果を学内教育へ還元する。					
4-4-1：卒業生の状況を在校生教育や卒後支援へ効果的に活用するための整理・分析が十分に行えていない。									
【成果・特記事項】									
4-2-1：コロナ禍以降中断していた、対面での就職ガイダンスを再開した。									

5 学生支援									
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	3.8	↗	3.9	面談記録、学生支援室記録、奨学金案内、作業療法学科会議議事録	教務
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者に周知されているか）	A	3.8	↗	3.9	保護者説明会、就職オリエンテーション資料、就職活動の手引き、就職ガイダンス資料、就職活動のしおり、就職活動報告書のまとめ、組織図、各委員会目標・総括報告、学生便覧、面談記録、学生支援室記録	教務
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	3.6	↘	3.4	面談記録、学生支援室記録、ハラスメント規定および窓口、学生便覧	教務
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	3.9	→	3.9	面談記録、学生支援室記録、学科会議議事録	
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	3.4	→	3.4	パンフレット、募集要項、奨学金の案内、奨学金説明会資料	運営会議
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	3.6	↘	3.4	健康診断の案内、予防接種の実施案内、年間行事予定表、学事暦	
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	3.0	→	3.0	ボランティア活動の起案、学会参加等の案内と記録、金沢市との提携に関する書類、サークル活動案内	

5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	3.0	↘ 2.9	募集要項、案内書類の設置、入学案内、入学許可書同封物、パンフレット、ホームページ	
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）					
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	2.8	↗ 3.0	面談記録、学生支援室記録、保護者説明会記録、出欠表、運営会議議事録、教員会議議事録、学科会議議事録、作業療法学科会議議事録	教務
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	2.3	↘ 2.1	社会人給付金の基準、事業計画書	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	2.1	→ 2.1	面談記録、学生支援室記録、教員会議議事録、学科会議資料、事業計画書	
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	2.9	↗ 3.1	ホームページ（職業実践専門課程等の基本情報について、学校概要）	
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）					
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）	A	3.2	→ 3.2	成績証明書の送付記録、保護者宛成績等発送起案、学生面談記録、保護者説明会起案、保護者説明会実施報告書、保護者説明会資料	教務
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っているか	B	3.0	↘ 2.9	学生面談記録、保護者説明会資料	
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）					
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	2.8	↘ 2.6	学科会議議事録、同窓会会則	教務
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	2.0	→ 2.0	同窓会案内	
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	3.0	↘ 2.9	運営会議議事録、パンフレット、ホームページ、募集要項、同窓会案内	
【課題】				【今後の改善方策】				
5-5-2、5-5-3： 退学率・対応方針は共有されているが目標・計画の共有はされていない。				5-4-41：サークル顧問の教員などからの報告を実施する。 5-4-42：学生の生活環境への支援体制を整える。 5-5-2、5-5-3： 退学率・対応方針の目標・計画を明示する。				
5-7-21：近年、卒業生を対象とした学校主催の講習会・研修会を開催できていない。				5-7-1：卒業生に対する相談窓口を設置する。 5-7-21：同窓会を活用し、症例検討会や勉強会など、卒業生を対象とした講習・研修を負担のない範囲で実施するとともに、卒後教育・支援の計画的な運営を行う。				
5-7-41：社会人学生の現状のニーズを把握していない。								
【成果・特記事項】								
5-4-1：学費を分納に変更した。								
5-7-41：2026年度より社会人学生に対し正面駐車場利用を認めた。								
5-7-41：専門実践教育訓練給付金制度において作業療法学科が対象となった。								

6 教育環境								
6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）					
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	3.7	→ 3.7	各種申請書類（図面）、時間割、学校設置認可申請書、講義記録、教室配置図、専修学校報告書	運営会議
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	3.9	↘ 3.8	図書台帳、財産目録、図書目録、資産目録	

6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	3.6	↗ 3.8	教育備品台帳、備品台帳、各委員会目標・総括報告、各種設備・教育備品の一覧表及び点検票、管理体制の組織図		
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	2.7	↘ 2.5	学生規則、就労規則		
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	2.5	↗ 2.7	教員会議議事録、備品台帳、棚卸記録		
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	3.7	↘ 3.6	海外研修案内・資料、ホームページ、シラバス、実習施設一覧、臨床実習指導者会議開催要項、臨床実習指導者会議議事録、臨床実習の手引き、実習登録施設数	教務	
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	3.6	↗ 3.8	臨床実習の手引き、シラバス、学生便覧、進度表		
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	2.6	↗ 3.2	危機管理マニュアル、臨時休業（休校）ガイドライン	運営会議	
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	3.4	↗ 3.7	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書、各種点検実施記録		
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	3.0	↗ 3.5	防災訓練実施要項、消防訓練実施要項、消防訓練実施計画書、避難訓練実施要項、防災訓練実施要項、防災訓練実施報告書		
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	2.9	↗ 3.2	危機管理マニュアル、各種設備の定期点検記録、各種設備の定期点検票、設備管理者の一覧表		
【課題】				【今後の改善方策】					
6-1-21：分煙・禁煙について掲示されていない。				6-1-21：指定場所以外での喫煙を禁止することを明記した掲示をする。					
【成果・特記事項】									
6-3-1：臨時休業休校ガイドラインが示された。									

7 学生の受入れ募集								
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）					
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	3.4	↗ 3.7	判定会議会議議事録、入試実施要項、募集要項、パンフレット、ホームページ、オープンキャンパス計画・案内、オープンキャンパス用説明資料、学校ガイダンス等参加計画書、入試課活動計画書、募集活動体制組織図	運営会議
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	2.8	↗ 3.5	アドミッションポリシー、ホームページ、教員会議議事録、募集要項、パンフレット、公式 WEB サイト	
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	3.7	→ 3.7	パンフレット、ホームページ	
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	3.7	→ 3.7	募集要項、パンフレット、判定会議議事録、学校ガイダンス等参加計画、	
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	3.5	↗ 3.7	ホームページ、組織図	

7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	3.7	→ 3.7	パンフレット、ホームページ、募集要項、入学式後の説明会資料、オープンキャンパス実施要項、オープンキャンパス日程表・案内		
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	B	3.7	→ 3.7	入学前課題資料及び起案、委員会担当表、教員会議議事録、仮入学式などの計画書		
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	3.5	↗ 3.7	パンフレット、ホームページ、募集要項	運営会議	
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選考を行っているか	A	3.5	↗ 3.7	募集要項、選抜の実施起案、判定会議議事録		
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	3.3	↗ 3.7	募集要項、学生便覧、理事会・評議員会議事録、決算報告書、財産目録	運営会議	
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	3.2	↗ 3.5	パンフレット、ホームページ、募集要項、学生便覧、保護者説明会資料		
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について文部科学省通知（18 文科高第 536 号）に基づいて適切に対応しているか	B	3.7	↘ 3.5	募集要項、学生便覧、会議議事録		
【課題】				【今後の改善方策】					
7-1-2： アドミッション・ポリシーがホームページのみの掲載なので、学校構成員に周知されているとは言えない。				7-1-2： アドミッション・ポリシーを学生便覧に掲載することを検討する。					
7-3-2： 学費以外の費用が明示されていない。				7-3-2： 学費以外の費用を概算でもよいので記載する。					
【成果・特記事項】									
7-1-2： アドミッション・ポリシーがホームページに公表された。									
7-3-1： 学納金分納制度を導入した。									

8 教育の内部質保証システム								
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）					
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	3.7	↓ 3.5	業務日報、議事録、指定規則に対する各種設置記録、学生便覧、シラバス、講義記録、進度表、設置等に関する書類	運営会議
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	3.0	→ 3.0	組織図、就業規則、就労規則、情報管理ハンドブック、ハラスメント規定、危機管理マニュアル、指定規則に対する各種設置記録	
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	3.2	↑ 3.7	ハラスメント規定、情報セキュリティハンドブック、就業規則、就労規則、危機管理マニュアル、危機管理規程、ルールブック	
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）					
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	2.5	↑ 3.1	就業規則、ホームページ（情報セキュリティ対策、プライバシーポリシー）、情報セキュリティハンドブック、就業規則第 4 章服務規律第 72 条（秘密情報管理義務）	事務局
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	2.1	↑ 2.6	情報セキュリティハンドブック、就業規則、プライバシーポリシー	

8	2	3	個人情報情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていないか	B	2.1	↑ 2.5	情報セキュリティハンドブック、就業規則、文書廃棄要項、文書管理台帳	
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）					
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	3.5	→ 3.5	自己点検・評価報告書、自己評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録、各委員会目標・総括報告	運営会議
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	3.7	→ 3.7	自己点検・評価報告書、自己評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録	
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	3.5	↑ 3.7	自己点検・評価委員会報告書、自己評価委員会議事録、学校関係者委員会議事録、組織図、学校評価規程	
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	B	3.5	↑ 3.7	学校関係者評価報告書、学校関係者評価委員会議事録、自己評価委員会議事録、組織図、学校評価規程	
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）					
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	3.2	↓ 3.0	他各委員会の総括資料、教員会議議事録、チームズ配信記録	運営会議
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	2.2	→ 2.2	卒業生就職状況・内定一覧データ	
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	2.8	↓ 2.7	各種会議議事録、各委員会目標・総括報告、自己点検・評価報告書、改善計画書	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2.7	↑ 2.8	各種会議議事録、各委員会目標・総括報告、自己点検・評価報告書、改善計画書	
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	2.8	↓ 2.7	各種会議議事録、各委員会目標・総括報告、学校関係者評価報告書、改善計画書	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2.7	↑ 2.8	各種会議議事録、各委員会目標・総括報告、学校関係者評価報告書、改善計画書	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）					
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	3.7	→ 3.7	ホームページ、職業実践専門課程別紙様式4	運営会議
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	3.7	→ 3.7	ホームページ、自己評価委員会議事録、自己点検・評価報告書、公表した冊子	
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	3.7	→ 3.7	ホームページ、学校関係者委員会議事録、学校関係者評価報告書、公表した冊子	
【課題】				【今後の改善方策】				
8-4-2：卒業生の就業・離職状況について完全に把握できていない。				8-4-2：臨床現場、職能団体、同窓会活動との連携を強化し情報収集、および教育活動へのフィードバックを行っていく。現場で活躍している卒業生自身にも教育活動に協力してもらう。 8-4-3、8-4-4、8-4-5、8-4-6： 今後も自己点検・評価結果に基づき、各委員会活動に改善依頼を行っていく。				
【成果・特記事項】								
8-4-3、8-4-4、8-4-5、8-4-6： 自己点検・評価の結果に基づき各委員会、担当部署に改善依頼を行った。								

9 財務								
9	1	項中	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）					

9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	3.0	↘ 2.7	理事会・評議員会議事録、事業報告書、財産目録、収支決算書、決算報告書、財務諸表財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書	運営会議	
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	3.2	↘ 2.8	理事会・評議員会議事録、事業計画書、予算申請書、年度予算書、全体予算書、中期計画書、収支決算書、決算報告書		
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	3.3	↘ 2.7	理事会・評議員会議事録、事業計画書、予算申請書、収支決算書、決算報告書	運営会議	
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	3.3	→ 3.3	理事会・評議員会議事録、決算報告書、事業報告書、事業計画書、予算申請書、予算執行表、収支決算書、収支計画書、月次予算チェック表		
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	2.8	↗ 3.3	議事録、会計監査報告書、監査報告書、ホームページ	事務局	
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	3.6	↗ 3.7	財務諸表、決算報告書、ホームページ	事務局	
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	3.7	→ 3.7	ホームページ、決算報告書		
【課題】				【今後の改善方策】					
9-1-1	入学者数の減少により学納金収入が減少傾向にあり、財政基盤が不安定な状況が続いている。			9-1-1	教育活動、及び学生募集（広報）活動に関する予算を十分に確保しつつ、可能な限り支出の最適化に基づいた予算を作成し執行する。				
【成果・特記事項】									
9-2-2	2025 年度予算執行については、概ね予算通り執行された。								

10-1-2：公開講座を実施したがあまり動員が無かった。	10-1-2：公開講座の内容の変更。
【成果・特記事項】	
10-1-1：こども食堂の運営について、学生を含め継続的に実施できた。	